



2022年10月28日

各位

会社名 明治海運株式会社
 代表者名 代表取締役社長 COO 内田 貴也
 (コード番号 9115 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役 水野 敏郎
 電話番号 (03) 3792-0811

営業外費用の計上及び第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における営業外費用の計上及び、2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、同日に公表した通期連結業績予想も修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上

為替相場の変動により、2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)において、営業外費用に為替差損1,298百万円、デリバティブ評価損1,153百万円を計上することとなりました。これは主に、外貨建債務の評価及び、為替予約の時価評価により生じたものです。

2. 2023年3月期第2四半期連結累計期間 業績予想と実績値の差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰 属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,800	百万円 800	百万円 600	百万円 2,400	円 銭 71.62
今回修正予想 (B)	26,340	2,576	437	4,025	119.42
増減額 (B-A)	2,540	1,776	△163	1,625	—
増減率 (%)	10.7%	222.0%	△27.2%	67.7%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	20,329	1,300	1,057	619	18.50

(修正の理由)

当初想定為替レートを1US\$=110円としていましたが、想定より円安で推移したこと等により売上高は増加し、費用面でも為替円安の影響を受けたものの、想定より船費及び、ホテル業費用が減少したこと等から、営業利益も予想を上回ることとなりました。一方、経常利益は、上記1.の理由により予想を下回ることになりました。また、特別利益においては、期初予想に織り込み済みの船舶売却益についても為替円安の影響を受け、親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を上回ることとなりました。

3. 2023年3月期通期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 50,600	百万円 4,400	百万円 3,200	百万円 3,500	円 銭 104.45
今回修正予想 (B)	58,000	7,100	3,200	5,500	163.14
増減額 (B-A)	7,400	2,700	0	2,000	—
増減率 (%)	14.6%	61.4%	0%	57.1%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	45,815	4,401	4,346	3,277	97.82

(修正の理由)

為替レートが円安に推移していること等により、売上高、営業利益は予想を上回る想定としています。

一方、営業外費用においては、上記1.の理由と同様に、為替円安の影響を受け、為替差損及び、デリバティブ評価損の計上を想定していることから、経常利益は当初予想通りとしています。また、特別利益においては、上記2.と同様の理由により、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を上回る想定としています。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

以 上